

STZ-CAM80G

サブカメラ

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明のとおり正しくお使いください。特に裏面の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

本機は JVC ケンウッド製ドライブレコーダー専用のサブカメラです。他社製品や当社指定以外のドライブレコーダーとは接続できません。



© 2020 JVCKENWOOD Corporation

B5A-3670-10




本体の取り付け、配線、操作を始める前に、裏面の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

	警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（警告を含む）が必要なことを示す記号です。
	してはいけない行為（禁止行為）を示す記号です。
	必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号です。

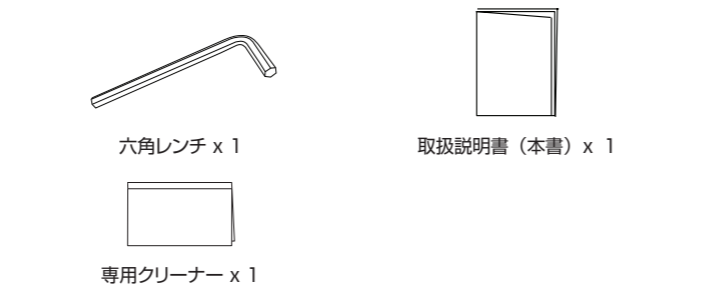
免責事項について

この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によってお客さま、または第三者が受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

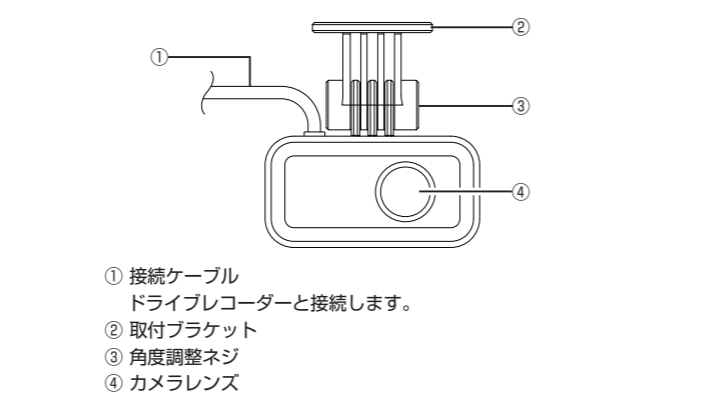
著作権について

・個人が楽しむ場合であっても、権利者に無断で録画・撮影・録音することはできない場合があります。
・録画・撮影・録音することが権利者によって許可されていても、個人で楽しむ視聴以外の利用が許可されていない場合があります。

付属品



各部の名称とはたらき



使用上のご注意

取り付けについて

- ・運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・本機をリアガラスに取り付けるとき、直接リアガラスに取り付けてください。
- ・リアガラスに熱線がある場合は、熱線避けて取付ブラケットの接着面を上から貼り付けてください。
- ・リアワイパー装備車はワイパーのふき取り範囲に入るように取り付けください。ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより、映像が見づらくなる場合があります。
- ・運転やエアバッグ動作の妨げにならないよう注意して取り付けください。
- ・本機を運転支援システム搭載車に取り付けるときは、車両の取扱説明書を確認して運転支援システムの妨げにならない場所を選んで取り付けください。
- ・接続ケーブルの配線をラジオアンテナ付近で行うと、ラジオの受信感度の低下やノイズの原因になる可能性があります。
- ・本機や本機の配線を GPS アンテナ、地上デジタルテレビ受信アンテナの近くや、電装品の近くに取り付けおよび配線をしないでください。受信感度の低下やノイズの原因になる可能性があります。(GPS アンテナからは 5cm 以上を目安に離す。)
- ・付属の専用クリーナーまたは市販のクリーニングクロスにエタノールをしみこませたもので取付場所の汚れや脂分をきれいに拭き取り、乾いたことを確認してから取付ブラケットを固定してください。再貼り付けや汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなり、本機が落下する恐れがあります。
- ・本機を取り付け後、取付ブラケットの接着力を強くするため、24 時間以上放置してから使用してください。取付ブラケットの接着力が弱くなり、はがれ落ちる可能性があります。
- ・取り付け後、車両電装品が正常に動くか、必ず動作確認を行なってください。
- ・ケーブル類は運転操作の妨げにならないように、市販のソフトテープなどでまとめてください。

ただし、本機の接続ケーブルは GPS アンテナ、地デジ、ETC 等のケーブル・コードと一緒に束ねないようにしてください。

ご使用について

- ・カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- ・LED 信号機を撮影した場合、信号機がちらついたり点滅しているような映像が録画される場合があります。また信号機の識別や録画に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・自動車のリアガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- ・リアガラスがプライバシーガラスになっている場合、周囲の明るさによって記録映像が見づらくなる場合があります。
- ・本製品はあらゆる状況においての映像の撮影を保証するものではありません。
- ・高温、低温でのご使用は、誤動作や故障の原因になります。夏季は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。


本機のお手入れ

- ・汚れたときは、シリコンクロスが柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- ・レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。

SD カードの初期化について

- ・本機とドライブレコーダーを接続してドライブレコーダーの電源をオンにしたとき、SD カードの初期化の案内が表示される場合があります。SD カードの初期化を行うと、すべてのファイルが消去されます。残す必要があるファイルがある場合には、事前にファイルをパソコン等にバックアップ（コピー）してください。

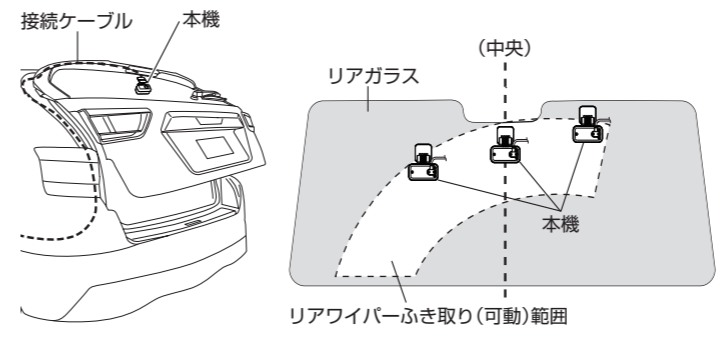
取り付けかた


 **警告** 取り付け・配線作業は専門技術が必要です。安全のため専門技術者に依頼してください。

取付位置

本機は、リアガラスの中央部に後ろ向きで水平にして直接取り付けます。リアガラスの中央部に部品がある場合は、取付位置を下方または左右にずらして取り付けてください。また、リアワイパーがある場合は、リアワイパーのふき取り範囲内に取り付けてください。

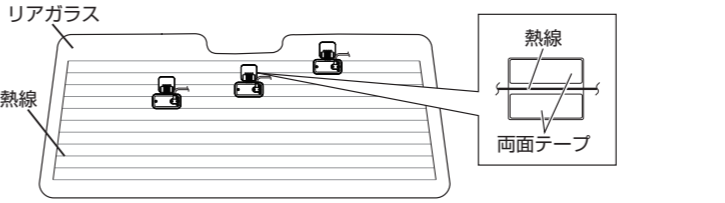
■取り付けイメージ



 リアガラスにフィルムが貼られている場合、フィルムの上から取り付けると衝撃を受けた際にフィルムごと外れる可能性がありますので注意してください。

■リアガラスに熱線がある場合

熱線に取付ブラケットの両面テープを貼り付けしないでください。両面テープを剥がす際、熱線を破損させる恐れがあります。取付ブラケットに貼られている両面テープは熱線避けるように隙間を設けています。




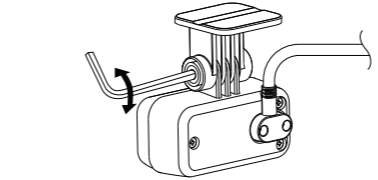
取付手順

車が水平な場所に駐車していることを確認します。

1 本機を貼り付ける前に大まかに取付角度を調整する


角度調整ネジを緩めて取付角度を大まかに調整します。角度調整が終了した後は、緩めたネジを締め直してください。配線後に実際の映像を見ながら再調整してください。

 角度調整ネジは付属の六角レンチを使用して回してください。



2 本機の取付位置を決める

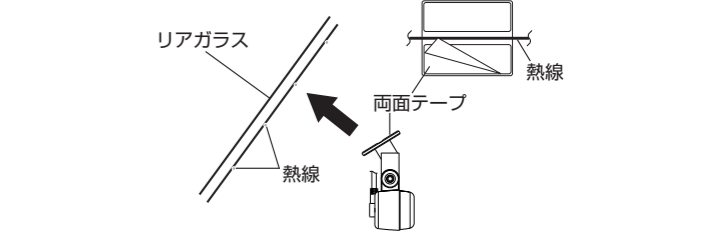
上記の「取付位置」を参考にして取付位置を決めてください。


 取付ブラケットの両面テープが熱線に重ならないことを確認してください。

3 付属の専用クリーナーまたは市販のクリーニングクロスにエタノールをしみこませたもので取付場所の汚れや脂分をきれいに拭き取る


4 取付ブラケットの両面テープからフィルムをはがし、リアガラスに押しつけて貼り付ける

取付ブラケットの両面テープのフィルムをはがし、空気が入らないように注意して、リアガラスに押しつけて取付ブラケットを貼り付けます。取付ブラケットの取付強度を強くするため、取り付け後24時間以上放置してから使用してください。



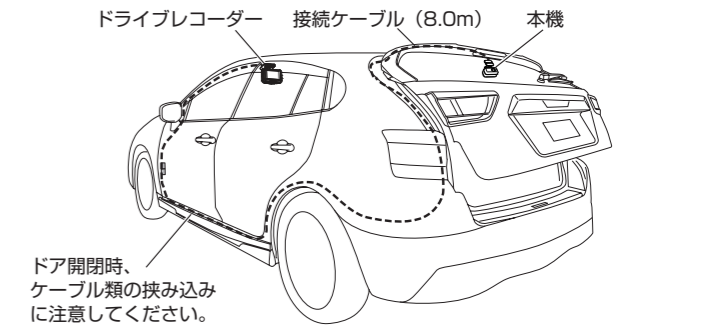
 本機の取付ブラケットは上下方向の角度調整はできますが、左右方向の角度調整はできませんので取り付ける向きに注意してください。取り付け後、カメラの保護シートをはがしてください。

接続のしかた

 **注意** 接続作業を行うときは、はじめにエンジンがオフになっていることを確認してください。

リアガラスに取り付けた本機から引き出された接続ケーブルは、運転操作の妨げにならないようにドライブレコーダーに接続します。

■ケーブルの引き回し例

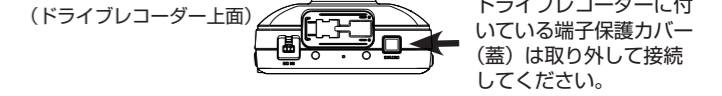


ご注意

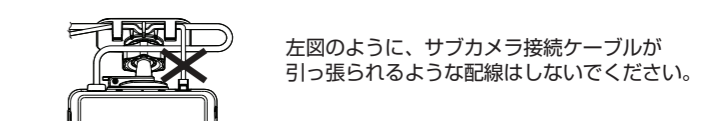
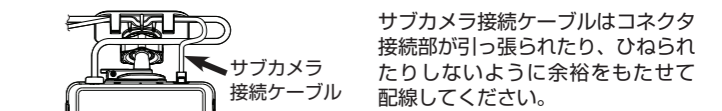
ケーブル類の配線にあたっては、「使用上のご注意」の「取り付けについて」をよくお読みの上配線してください。また、下記の点にも注意してください。
・フロントビラーカバーが特殊クリップなどで固定されている車両の場合は、フロントビラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントビラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。

1 接続ケーブルをドライブレコーダーに接続する

接続ケーブルをドライブレコーダー上面のEXT.CAMERA端子に接続します。



接続ケーブルは、下図のとおりドライブレコーダーの電源ケーブルと一緒に、ドライブレコーダーの取付ブラケットのフックにとおしてください。



2 エンジンをオンにしてドライブレコーダーの電源をオンにする

本機の接続をドライブレコーダーが認識すると、ドライブレコーダーの画面左上に「2」が点灯します。点灯しないときは、エンジンをオフにしてから接続ケーブルの差込みを確認して、再度エンジンをオンにしてください。

⇒続きは裏面をご確認ください

接続のしかた（続き）

3 本機の映像を確認する

ドライブレコーダーのメニューから<システム基本設定>⇒<映像確認（サブカメラ）>と選択して、本機の映像を確認します。

- 映像が上下反転している場合は、以下の手順により、映像を反転させてください。ドライブレコーダーのメニューから<システム基本設定>⇒<映像確認（サブカメラ）>⇒<映像回転>を選択して、<はい>を押します。自動的にドライブレコーダーが再起動します。

- 本機使用時は赤外線LEDを使用しません。映像右上の表示がLED OFFとなっていれば、以下の手順は不要です。映像右上の表示がLED ON（赤外線LED点灯）となっている場合は、以下の手順により、赤外線LEDをOFFにしてください。ドライブレコーダーのメニューから<システム基本設定>⇒<映像確認（サブカメラ）>⇒<赤外線LED>を選択して、<はい>を押します。自動的にドライブレコーダーが再起動します。



4 本機の取付角度を再調整する

車が水平な場所に駐車していることを確認します。実際の画像を見ながら角度を調整し、角度調整ネジを締め直して固定します。地上と空の比率が約 5 対 5 になることを推奨します。

5 エンジンをオフにする

安全上のご注意（必ずお守りください）

警告

取り付けや配線について

- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない**エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付けるときは、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。
- 視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない**交通事故やケガの原因となります。
- 取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない**交通事故やケガの原因となります。
- 取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する**取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をすると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。
- 説明書に従って取り付け・配線をする**火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。
- 作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する**車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。
- 必ず付属の部品や指定の部品を使用する**機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

	ケーブル類は、運転を妨げないように引き直し固定する ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。
	車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にケーブルを挟み込まないように配線する 断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。
	ケーブルの被覆のない部分はテープなどで絶縁する 被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。
	取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する 車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。
	ねじなど小物部品やはがしたフィルムは乳幼児の手の届かないところに置く あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
	本機の接続ケーブルを使用する 付属以外のケーブルを使用したり、ケーブルを改造することは絶対にやめください。火災、感電の原因となります。
	接続ケーブルは確実に差し込む 確実に差し込まない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。
	接続ケーブルを接続する前に、ケーブルコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていたり、汚れていないか確認する ショートにより火災を起こす原因となります。
	接続ケーブルを抜くときは、プラグを持って抜く ケーブルが破損し火災、感電の原因となります。
	接続ケーブルは定期的に清掃する ほこりが付着していると火災の原因となります。
	ぬれた手で接続ケーブルを抜き差ししない 感電の原因となります。

ぬれ手禁止

使用方法について

- 分解・修理および改造はしない**分解・修理、改造、ケーブルの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
- 機器内部に、水や異物を入れない**金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にからないようご注意ください。
- 故障や異常な状態のままで使用しない**画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする等の場合は、ただちに使用を中止して接続ケーブルを本機から外してください。事故や火災、感電の原因となります。
- 運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない**必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、接続ケーブルや本機に触れない**落雷による感電の原因となります。

異常時のお問い合わせ

- 異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず購入先の販売店、またはドライブレコーダー本体の取扱説明書に記載のお問い合わせ先に問い合わせる**そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

注意

取り付けや配線について

- 水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない**水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- 機器の通風口や放熱板をふさがない**機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- ケーブルの扱いに注意する**ケーブルを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

- 本機を車載用以外で使用しない**発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。
- 走行前に本機の取付状態を点検する**本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず右記の「故障かな?と思ったら」を参照して解決方法がないかお調べください。解決しないときは、エンジンをオフにしてから、本機およびドライブレコーダーの接続ケーブルの抜き差しをし、再度エンジンをオンにしてください。再起動しても正常に戻らないときは、ご購入先の販売店、またはドライブレコーダー本体の取扱説明書に記載のお問い合わせ先にお問い合わせください。

主な仕様

■ 本体	
動作温度範囲	− 20℃～+ 60℃
外形寸法 (WxHxD)	約 52 ×約 27 ×約 26 mm (ブラケット部含まず) (ブラケット部を含む高さ：63mm (最大))
本体質量	約 60g (ケーブル含まず)
電源	DC 6.6V / 500mA (ドライブレコーダーから供給)
接続ケーブル長	8m

■ 映像仕様	
撮像素子	1/3 型カラー CMOS
有効画素数	約 200 万画素
画角	水平：約 120 度× 垂直：約 65 度
レンズ	広角、F 値：1.8
フレームレート	27fps (最大)
解像度	1920 x 1080 (最大)

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書の内容は 2020 年 7 月現在のものです。内容は予告なく変更することがあります。
- 本書に描かれているイラストは、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

アフターサービス（必ずお読みください）

修理を依頼されるときは

下記「故障かな?と思ったら」を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、必ず接続ケーブルを抜いてから、ご購入先の販売店、またはドライブレコーダー本体の取扱説明書に記載のお問い合わせ先にお問い合わせください。

本機で撮影した映像の再生

本機で撮影した映像は、同時に録画したドライブレコーダーの映像と同じフォルダに保存され、ドライブレコーダーで再生することができます。操作方法は、ドライブレコーダーの取扱説明書をご確認ください。なお、本機で撮影した映像のファイル名は、同時に録画したドライブレコーダーの映像ファイルと同じ日時の後ろに”_2”が付いています。例) 2020/07/01 12:00_2

ビューアソフトでは、再生したい日時のファイルを選択すると、ドライブレコーダーの映像と本機の映像を 2 分割で再生します。一方の映像画面をダブルクリックするとその映像のみとなり、クリックすると 2 分割の画面に戻ります。

本機で撮影した映像のサーバーへの送信について

ドライブレコーダーが一定以上の衝撃の発生時、イベント発生時、本機の映像をサーバーに自動的に送信します。また、本機の映像を手動でサーバーに送信することもできます。操作方法は、ドライブレコーダーの取扱説明書をご確認ください。※ただし、運用事業者により対応・内容が異なる場合があります。

故障かな?と思ったら

症状	原因 / 対処
ドライブレコーダーのモニターに本機の映像が出ない。	・ドライブレコーダーが録画中のときはモニターに本機の映像は出ません。 ✔ 映像を確認するときは、車を安全な場所に止め、ドライブレコーダーのメニューから<システム基本設定>⇒<映像確認（サブカメラ）>を選択してください。
本機で撮影した映像が保存されていない。	・接続ケーブルが正しく接続されていない。 ✔ エンジンをオフしてから、本機およびドライブレコーダーの接続ケーブルの差込みを確認して、再度エンジンをオンにしてください。

お問い合わせ

修理などアフターサービス、商品に関するお問い合わせは、ご購入先の販売店、またはドライブレコーダー本体の取扱説明書に記載のお問い合わせ先にお問い合わせください。